

「3・11を忘れない」—2015年3月14日 埼玉県和光市で！

★フォーレ「レクイエム」&ベートーベン「交響曲第9番」合唱付きほか★

石巻市民交響楽団の「オケ・サポートエキストラ」募集！

和光3・11を忘れない実行委員会

実行委員長 樽松 三郎

♪音のカー！首都圏のあなただから出来る震災支援に参加を！

2013年、2014年3月に和光市文化センター「サンアゼリア」(注1) 大ホールで開催した「和光3・11を忘れないコンサート」が、3たび、来年3月開催決定！来年は、3・11で最大の犠牲者を出した石巻市から宮城県最古、今年11月、第40回定演を迎える市民オケ「石巻市民交響楽団」(注2) と一部合唱メンバーを招致します。

(注1) 東武東上線・地下鉄有楽町線・副都心線「和光市駅」から徒歩8分。大ホール1200名収容。

(注2) 1976年創設。当初、堤俊作氏が指導。2011年定演中断、団員の一部被災。家族や住い、楽器なども流される。

団員30名。2012年以降毎年「追悼特別演奏会」開催のつど、首都圏から毎回、数十名のオケ・合唱団の応援参加。

オケ団員はいまだ弦楽器を中心に不足。多数のエキストラが必要です。そこで、和光市及び近隣の市民などのオケの全パートのボランティア・サポーターを募集します。

《応募要項》

- 1 参加資格—フォーレ「レクイエム」か、ベートーベン交響曲第9番「合唱付き」のオケ演奏経験者。(本主旨に賛同頂き、無償。参加費用も無し予定)
- 2 応募枠—前プロ・後プロの各パートごとに定員を設定し、オケエキストラ約60名。(応募者多数の場合は、曲により「乗り番」「降り番」の場合もあります。)
- 3 応募締切—2014年9月末日。
- 4 お申込み・お問い合わせ先—〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町5-4-16

「和光3・11を忘れない」事務局 齋藤大介

(和光市民合唱団。「311有志」合奏団Vc)

duke-s@kd6.so-net.ne.jp 携帯090-5793-3800

「和光3・11をわすれない実行委員会」—2013年3月、2014年3月に、東日本大震災犠牲者追悼復興祈念のコンサートを和光市「サンアゼリア」大小ホールで行った和光市民など市民主体の組織です。まだ復興にはほど遠く、長期支援が必要から、当面2021年までの10年間は本イベントを毎年開催する方針です。本主旨に賛同した実行委員や演奏者などは、基本的にプロ・アマ問わず、手弁当で参加、施設利用料も大幅減免助成頂き、これらとチケット販売で得られる収益や当日の「さくら義援金」を、今年は、和光市社会福祉協議会に寄付。被災地大船渡市へ送る一方、「和光3・11つながりカフェ」で、和光市周辺に避難されている方々への支援にも使わせて頂いています。なお、本イベントは、助成金申請中で、冠イベントとなる予定です。

《申 込 書》

①お名前—

②ご住所・連絡先—〒

TEL — —

③楽器・パート— ()

④ご経験に〇— () フォーレのみ () 第9のみ () フォーレ・第9両方

④所属オーケストラなど—

2015年3月14日予定

14日(土) 朝、石巻を大型バスで石巻市民交響楽団と一部合唱団が出発。

午後2時半 サンアゼリアで合同「ゲネプロ」。

午後6時～午後8時 本番

【プログラム】(曲目・曲順変更の場合あり)

指揮—佐々木克仁氏(石巻市大川小出身。現在石巻市民交響楽団指揮)

《前プロ》約1時間—30人前後の少人数オケ・100人前後の少人数合唱団—

・フォーレ「レクイエム」(約40分)

・ベートーベンロマンス2番(10分)またはタイスの瞑想曲(5分)

—トッププロソリスト打診中—

《後プロ》—80人前後の大編成オケ・200人前後の大合唱団—

・混声合唱「ふるさとの四季」(約15分。オケバージョン)

・小杉太郎(石巻出身、芸大中退。伊福部門下生)

「カンタータ大いなる故郷石巻」から3曲(約10分)、

・ベートーベン交響曲第9番「合唱付き」から第4楽章(約25分)

ドイツ語。ソロも入ります。

《アンコール》—観客・演奏参加者全員、オケ伴奏で合唱—

・「晴れたる青空～」の日本語「歓喜の歌」合唱(3分程度)

8時半打ち上げ・交流会。

石巻市民交響楽団は、和光市近隣へ宿泊、翌日帰還。

河北新報 2012年3月26日(月)版。

レクイエム、天国へ響け 石巻市民交響楽団追悼演奏会



犠牲者を追悼する「レクイエム」を披露する交響楽団のメンバーら

東日本大震災から1年に合わせ、宮城県石巻市民交響楽団は25日、石巻市の石巻専修大体育館で、追悼特別演奏会を開いた。石巻地区の合唱団などと合同で、鎮魂歌「レクイエム」を披露し、犠牲者をしのんだ。

交響楽団と合唱団など計260人が、フォーレ作曲の「レクイエム」を35分間にわたり、荘厳な音色と美しいハーモニーで天国に響かせた。来場した約1000人から大きな拍手が送られ、最後に「ふる

さと」を全員で合唱した。交響楽団は震災で、メンバーの自宅が津波で流されたほか、石巻市内の練習場所が避難所となり、秋の定期演奏会は中止となった。合唱の参加者にも指導者や親族を失った人もいるという。交響楽団の足立岳志団長(51)＝大崎市鹿島台＝は「演奏会の実現には苦労が多かったが、亡くなった方々を追悼する気持ちが伝わればいい」と話した。